

2 社会の要請に応える体験活動等事業  
Ⅰ 環境教育や人権教育などのESDに対応した事業

諫早森林環境教育プロジェクト  
木育出展ブース  
～端材を使ってネームプレート(名札)をつくろう～

- 〔主催〕 国立諫早青少年自然の家  
〔協力〕 長崎県緑化推進協会  
タカシマホールディングス株式会社  
長崎県森林ボランティア支援センター  
〔期日〕 令和5年10月29日(日) 10:00～16:00 日帰り  
令和5年11月3日(金・祝) 10:00～15:30 日帰り  
令和5年12月17日(日) 11:00～14:00 日帰り  
〔会場〕 国立諫早青少年自然の家 学習室2  
ながさき県民の森  
国立諫早青少年自然の家 自然環境学習館前  
〔参加者〕 諫早青少年自然の家「家族で体験フェスティバル2023」参加者575人  
ながさき県民の森「ふるさとの森フェスタ」参加者400人  
諫早青少年自然の家「キャンプの日 デイキャンプ 12月」参加者0人  
〔担当職員〕 小野 栄策、小柳 響生、馬場 優

1)趣旨

木材加工工場から排出される端材を利用してネームプレートを家族で製作する。この活動を通して、産業廃棄物を減らし、木材を再利用することで、限られた資源を有効に使う取組の一助とする。また、木工クラフトに興味を持ち、自分の作品に愛着を持ち、物を大切に作る心を育む。

2)SDGsで目指す姿

		目標4 質の高い教育をみんなに 木工クラフトに興味を持ち、木の持つ良さを感じ取り、創作活動に意欲的に取り組む。 目標16 平和と公正をすべての人に 木材工場の加工において出てくる端材を再利用することで、産業廃棄物を減らし、限られた資源を有効に使うとする。
---	---	--

3)目標

処分される端材を利用し、家族で協力して自分の名前をプレートに表現し、持ち帰り大切に使用する。

4)プログラム

1日目	
9:50 はじまりの会 ※ブース出展によって開始、終了時間が違います。	
10:00 ブース出展(端材クラフト)	家族で体験フェスティバル2023【写真①】 ふるさとの森フェスタ【写真②】 キャンプの日 デイキャンプ12月【写真③】
15:30 おわりの会	

## 5)事業展開

### ①家族で体験フェスティバル2023



ブース入り口に端材についての説明を掲示し、タカシマホールディングス(株)の「森をつくるプロジェクト」について知るきっかけ作りを行った。自然の家周辺からとれる木工クラフトの材料を準備し、自由な発想で名札・ペンダントを家族で作成した。

### ②ふるさとの森フェスタ



出展ブース内に、広報物、材料スペース、作業スペースを設け、作業の順番が確認できるように工夫した。完成した作品を入りに展示することで、作品作りのアピールとなった。大人から子供まで、たくさんの来場者が作品作りを楽しむことが出来た。

### ③キャンプの日 デイキャンプ12月



キャンプの日当日は、寒さがとても厳しく、雪まじりの天候だったため、室内に製作スペースを設置したが、参加者はいなかった。

## 6)成果と課題

### ①成果

- ・タカシマホールディングス(株)の工場から出た端材を利用してクラフト活動を行うことで、廃棄物を減らし再利用する取り組みを、多くの参加者に知ってもらうよい機会となった。
- ・大人が子供に工作を教えながら、一緒になってものづくりの楽しさを味わうことが出来た。

### ②課題

- ・環境問題について考えるきっかけづくりをもっと工夫しながら、多くの方々に広めていく。